

## ➤資料2（出典：JAXA資料）

成田空港では2000年までの8年間で25名が死亡  
1999年1年間で50名～60名が重症患者、軽症も含めると150名が発症

（新東京国際空港クリニック調査による）

日本の長距離航空旅客数：515万人@成田空港1999年

20年後、長距離旅客輸送需要は3.3倍

1年間に500人も利用者がエコノミー症候群を発症する可能性（日本のみ）

発症率 = 150人 / 5.15百万人 = 29.1人 / 百万人

20年後、長距離旅客輸送は全世界で44260億・席・キロ / 年  
搭乗率を70%、平均8000km（8時間飛行）とすれば、約4億人 / 年の利用者

全世界では、1万人以上利用者がエコノミー症候群を発症する可能性

エコノミー症候群は飛行時間6時間以下では発症例なし  
超音速輸送で北米・欧州は6時間圏内

**超音速輸送でエコノミー症候群の発症をゼロにできる**